

令和4年 第1回委員会会議録

1 開催年月日 令和4年1月7日（金）

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時13分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 津田委員長、濱田委員長職務代理者、三原委員、石井委員

5 事務局職員 事務局長、選挙課長、庶務係長、選挙係長、書記1名

6 傍聴者 なし

7 議 題

(1) 報告事項

他都市における啓発事業の実施状況について

(2) その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・令和4年1月25日（火）午前10時30分

・令和4年2月10日（木）午前10時30分

・令和4年2月18日（金）午後1時30分

8 議事次第（○：出席委員、▲：事務局職員）

(1) 報告事項

報告事項について、事務局から資料の説明・報告を行った。

(2) その他

・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。

【質疑等】

○ 今回、29都市の啓発事業について調査されているが、これ以外にも、飯塚市でも新有権者に対するバースデーカードの郵送が行われている。今回調査された29都市以外にも、全国的に先進的な取組みを行う都市は多い。福岡市は転入超過の数が多い都市であり、そういった都市こそ、先進的な取組みを学び、啓発事業を実施してもらいたい。

他都市でのバースデーカードに係る費用は一人当たりどれくらい要しているか。

▲ 実施している他都市の予算額をみると、印刷と郵送費用を合わせ一人当たり百円程度となっている。

○ だとすれば、本市で実施した場合でも、それ程予算がかかるものではない。

18歳の投票率は比較的高く、主権者教育の効果や初めての選挙権を得るということで、20歳代の投票率よりも高くなっている。18歳、19歳の時に選挙の大切さを経験することが、選挙が自身の生活に結びつくことを自覚する上で大事であり、最初の選挙で投票に結びつけていくことが重要である。福岡市では、成人式での啓発を実施しているが、成人式での啓発とは別に、18歳で選挙権を得た際にも、啓発事業を行うよう検討してもらいたい。

○ 今回、他都市の先進的な啓発事業について調査されているが、その都市の18歳や19歳の投票率とどう結びついているのか、また、事業を実施する上で、実際にどういった課題や問題を抱えているのかなどを含めての報告であれば、なお分かりやすかったと思う。今後のためにも、投票率などの効果が出ている啓発事業について分析しておいた方がよい。

○ 今回、報告資料の作成にあたり、各都市に調査を行った元資料もいただいた。

▲ 整理した上で、後日、配付する。